

これなあに？



大館市指定史跡

板沢一里塚

道路沿いの畑の中に、ただただ邪魔に見える高さ約1.5メートルの小山。道を挟んだ向う側にも頂上に木が植えられた同じような小山が見えます。

実はこの小山、一里（約4キロメートル）ごとに街道の両側に土を盛り、樹木を植えて旅人の目標とさせた一里塚なのです。徳川時代の制度として全国の主な街道に築かれたもので、旅人の距離の目安、馬などの乗り賃の支払いの目安となったほか、日差しの強い日には木陰の休憩所になるなど、いろいろと利用されました。

板沢地内にあるこの一里塚は、田代町から鹿角市にいたる「鹿角街道」（現県道）脇にあるもので、江戸時代初期のころに築かれたものです。道路を挟んで一対の塚として今なお残っている貴重なものです。

いつもはこの欄でふるさと会役員のお便りを紹介していただいておりますが、今回はおよそ一カ月後に迫りました、第三回総会・懇親会の内容とその準備の模様をお伝えします。

総会は、十一月二十三日（土）十二時三十分から目白台の椿山荘で行い、懇親会を含め、終了は午後四時を予定しております。会場の椿山荘は、八方園、雅叙園と並ぶ東京の三大ガーデンレストランの一つで、その庭園の清閑さには定評があることで知られているところです。

さて、準備状況であります。今年度は総会当日出席者に配布しておりましたプログラムに代え、総会案内号と銘打った「ミニコミ誌」を作成し、全会員に総会の案内状として送付を予定しております。これにより、ふるさと会の活動を理解してもらい、更に多くの会員を総会に結集したいと考えております。「ミニコミ誌」発行の企画に際し、多くの企業から広告のご協賛を賜りましたことを、この紙面を借りまして厚くお礼を申し上げます。経費の関係で最低料金で郵送しなければならぬ制約

から、紙面は前二回のプログラムほどの見栄えは期待できません。しかし、全会員に配布する実効性に見じてご容赦ください。

前回は総会と並行して、二日間にはわたり十社を超える企業の参加をいただき、大館朝市産直物産即売会を開催しました。今回は会場の都合で大きな即売会の開催を見送りましたが、会場ロビー内に狭いながらも物産を販売する場所を確保しましたので、有志の参加をお待ちしております。

懇親会には、椿山荘初めての試みとして「きりたんぼ鍋」の模擬店を出店する予定であります。また、清酒も全て大館の地酒を持ち込んで行う予定です。懇親会は大館色の濃い会場になりそうです。皆さんお誘いあわせてご参加ください。お待ちしております。

秋田発 → 大館着

前略

大館市民になりました

66

☆今回は、城西町の小関俊博さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

みんなそろくと四人家族なのですが、現在は妻の美紀子、二男の亮太と私の三人です。長男の達弥とは都合で離れて暮らしていますが、来年四月になるとこちらで一緒に暮らしそうです。その時はよろしくお願いします。

Q・どちらからおいでになりましたか？

四月に、仕事の関係で秋田市から越して来ました。私も妻も生まれは山形なんです。

Q・大館の印象はいかがですか？

神明社の祭典のとき、年配のかたに混じって若い方も一生懸命やっている姿を見て感動しました。若い方にもやる気を感じ、良い街だなあと感じました。

Q・食べ物や言葉はいかがですか？

きりたんぼが時期を問わず、いつでも売られていることに驚きました。また、会社でのたんぼ会に家族で参加して食べましたが、ほかのところで食べてみたのと違い、やわらかくてすごくおいしかったです。言葉については、年配のかたに早口で言われると何を言っているのか分からないときがありますが、不自由は感じません。

Q・大館に何を望みますか？

市内で車が渋滞するのは気にならないのですが、夕方、周辺から市内に入ってくるときの自然渋滞が気になります。今、工事が進んでいるようですが、早く解消できればなあと思います。また、実家の山形が随分遠いなあと感じます。もっと道路事情が良くなればいいなあと感じています。

